



北アルプス 瀧沢

〔中信森林管理署 上高地森林事務所〕
森林官 堀内 志保
上高地森林事務所は、長野県松本市安曇に所在し、松本市西部、北アルプス南部地区の国有林を管理しており、森林官、森林技術員の二名体制となっております。



国有林と言えば現場、現場と言えば森林官！しかし、一般の方には余り馴染がないと思います。そこで各地にある森林事務所や地域の特徴、森林官の仕事などを紹介していきます。

「上高地」といえば、北アルプスに囲まれ、天然林が美しい自然美あふれた行楽地であり、また、槍ヶ岳や奥穂高岳などの名峰への登山口であることから、観光客や登山者で絶えず賑わっており、長野県内はもとより全国的にも有名な観光地です。
しかし、過去を振り返れば、昭和初期までは牧場として開墾した歴史も有り、焼岳が噴火し大正池



冬のケショウヤナギ

管轄する国有林は、中部山岳森林計画区の島々谷国有林、梓川筋国有林、上高地国有林で、面積は併せて約二二、二六〇ヘクタを有し、林種面積割合は、人工林が二%のみで、多くは天然林と高山帯が占めています。

そのような上高地を中心とした当事務所の業務は、旅館や山小屋、電力会社等への貸付地の確認や、希少な動植物保護を目的とした高山植物等保護パトロール、自然災害後の被害状況の調査が主となります。そして、国有林の中に地元町会があるため、住民と接する機会も多く、これからの上高地について熱い想いを伺いながら、関係



大木へ生長したカラマツ

ができる前まではカラマツを植林していました。上高地を流れる梓川による災害も多く、治山事業等も実施してきました。その後、保護林や国立公園、天然記念物に指定され、植林されたカラマツは大木へ生長し、梓川の溪畔林の美しい、現在のの上高地の風景が成り立っています。



穂高岳を背景に大正池にて

行政機関と連携し、国有林として何ができるかを考え、日々業務を行っています。
■未来の担い手へのメッセージ
日々、森林の中を歩きながら、上高地の大木となったカラマツを、いつか販売することを夢見たり、閉山した後の静けさに包まれた上高地を一人歩いてみると、小さな楽しみもありますが、長い歴史の中で変化してきた森林を、管理するという仕事は大変有意義であり、ありがたい仕事だと感じています。一緒に働く国有林野職員は、苦勞を共にして、気心知れた仲間になります。興味のある方は国有林に就職してみたいかがでしょうか。



ほそえ やすまさ もり ひでなり さいとう あきみつ たぐち たかのり
 細江 康雅 森 英成 齋藤 聡光 田口 貴規
 (2015年入組) (2010年入組) (2016年入組) (2015年入組)

シリーズ
 「森林・林業界からの便り」
 南ひだ森林組合

受注してくださる民間事業者あつての国有林。そこで、国有林の植林や間伐などを行う森林・林業事業者からの投稿をもとに、頑張っている若者や女性技術者などを紹介していきます。



ハーベスタでの造材作業(上)、タワイヤードでの集材作業(下)

■事業の概要
 事業名・森林環境保全整備事業
 (伐採・造林一貫作業 岐阜5川上)
 発注者・岐阜森林管理署
 事業地は、平成十九年に鮎の味覚日本一にもなった清流馬瀬川の上流に位置し、清流をはぐくむ源となる川上国有林です。スギを中心とした皆伐一・一二ヘクタ、生産予定三七〇立方メートル、間伐二五・〇七ヘクタ、一、六三〇立方メートルと皆伐地の防護柵、地拵え、植栽の一貫作業となっております。一貫作業では、トータルコストの削減を求められますので効率の良い事業展開を目指しています。

■現場での役割、魅力
 四名は、緑の雇用での三年間の研修を終了し、必要な資格の取得、林業の知識を深める中で、高性能林業機械を駆使し、高密度路網での森林作業道を利用した搬出間伐を中心として伐採から機械オペレーター等として作業に従事しています。
 田口・山の仕事は、残業も無くて趣味でやっている格闘技とうまく両立させてもらっています。
 空気がうまくて楽しい仕事ですよ。齋藤・伐倒で、木の倒れていく時の音や迫力は他では味わえない気持ち良さです。きつと思う時もありますが、いろんな機械を使って考えながらの作業で日々の成長を実感し、きれいになった山を見るとそこで味わえる達成感で頑張れますね。
 森・先輩の仕事を見ながら技術の向上に努めています。がんばったら班の仲間にも認められて、給料にも反映されるのでやりがいを感じています。山の中で食べる弁当がとてもおいしいですよ。



集合写真(上)、令和二年度新規入組の森林技術職員四名と事務職員一名(下)

■森林・林業の世界に入ったきっかけ
 齋藤・この仕事につこうと思ったきっかけは、自然の中で働きたいと思ったからです。働いてみると、いろんな体験ができて楽しいですね。
 細江・小学校の時の体験学習で、苗木の植栽や下刈、枝打ちを経験する中で森林組合への就職を中学生のころから考え、高校や専門学校を決めました。
 ■未来の担い手へのメッセージ
 地域林業や森林環境への貢献ができる林業の担い手になりませんか。